

# 新副町長決まる

採決 **同意** (9:1)

反対: 茂呂議員

氏名 ● 今任 和広(いまたう かずひろ)42歳

略歴 ● 九州大学文学部卒業後、平成6年4月福岡県に採用され、企画振興部調査統計課、企画・地域振興部市町村支援課、商工部商工政策課などを歴任

## 反対討論 (茂呂議員)

町内にも優れた人材がおられ、十分に町のことが把握できている住民から選任することが望ましいと考えるため、本同意案に反対する。

## 賛成討論 (三田議員)

町長の職務は非常に激務である。今回の副町長の選任により、行政全体の仕事の質の向上、さらなるスピード感を持った行政サービスにつながるものと考えため賛成する。

## 発議

(意見書案 提出議員 茂呂議員) (反対: 峯議員 宮本議員 三田議員 増矢議員)

## 玄海・伊方原発再稼働の反対を求める意見書

採決 **採択** (6:4)

## 反対討論 (宮本議員)

本意見書案は、原発の即時廃止を求めるという考えであるため反対である。多くの国民が原発を危険であると感じつつも、原発を長期的に段階的に廃止していこうと望んでいるのも事実であり、現実的な国民生活の安定、並びに経済活動の向上のために政府の推進しているアベノミクスの経済効果を阻害しないために本意見書案に反対する。

## 賛成討論 (安元議員)

原子力発電の安全神話の崩壊、人の手で作ったものが人の手に負えないという大問題は、事故発生から満3カ年経過したものの、放射能汚染により余儀なくつづく避難生活者も多くおられる。全国にある48基の原発は規制委員会の判定が出れば再稼働を認めるようになっているが、近隣にある原発の絶対安全の保証はない。全国455の自治体からも、意見書提出がなされているが、私はまず第一に住民の生命財産を守るためにも原発の即時廃止を求める本意見書案に賛成する。

(意見書案 提出議員 宮本議員)

## 東九州自動車道開通に伴う地域産業振興及び経済効果向上に関する意見書

採決 **採択** (10:0)

## 賛成討論 (三田議員)

スマートICを一定時間、自由に乗り降りができることを要望するこの意見書案は、利用者の利便性があがるだけでなく、この地域の活性化・経済効果も十分にあがるため、私は賛成する。

平成26年度

# 上毛町の主な施策

## 子育て支援(福祉・教育施策の充実)

### 新 子ども未来課の新設

子育て支援・児童福祉・少子化対策・保健に関することを担当、また『健康福祉課』を『長寿福祉課』へ変更

### 新 町立保育所体操教室

外部講師による月2回の体操教室を実施

64万円

### ◎ 子ども医療費対策事業(拡充)

子ども医療費における通院費の助成を就学前までから中学生までに拡大  
1 医療機関、月上限800円で、10月から実施予定

799万円

### 新 大志塾講演会

『背中を見せて語れる』講師を招聘した講演会を中学生と保護者向けに開催

30万円

## 産業の活性化

### 新 上毛PA及び上毛SIC利活用検討事業

上毛PA(仮称)・上毛スマートIC活用プロジェクトチームを設置し、新たなまちづくりや地域活性化の方策を検討

12万円

### ◎ 地域商品券発行事業補助金

プレミアム商品券発行に対する補助事業(発行総額 3000万円)

210万円

(県補助90万円)

### ◎ 住みたい上毛町推進プロジェクト

町の資源を活用し総合的な移住・定住促進を具現化するための事業

【実施内容】住みたい上毛町研究会の開催・お試し居住事業の拡大・田舎暮らし研究村構想の実施

703万円

## 行財政改革

### ◎ 介護予防事業

町内2事業所に委託している在宅介護支援センター業務を地域包括支援センターに整理統合し、業務の効率化を図るため、専任の嘱託職員1名を雇用し、高齢者の在宅生活を支援

317万円

(25年度から564万円減額)

